

2. 身近に起きている事例

分野	小分類	アンケートに寄せられた主な意見
(1) 海や海辺の環境	1.海辺の自然環境	戦前の開発、戦後の経済発展のため、広島港は豊穡の海から死の海へと化した。「経済」優先のため、広島港はゴミだめ汚水すてでしかない。
(1) 海や海辺の環境	1.海辺の自然環境	京都府の八丁浜では海づくり大会のために、きれいな海岸線が埋め立てられました。
(1) 海や海辺の環境	1.海辺の自然環境	御前崎の白羽海岸の西には200メートルくらいそのままの海岸があります。しかし、そこもコンクリートで固められようとしています。
(1) 海や海辺の環境	1.海辺の自然環境	千葉県九十九里浜や、茨城県の鹿島など、年々防波堤の延長工事を繰り返し現在では消波ブロックが入っていない海岸線はほとんど残されていません。
(1) 海や海辺の環境	3.海砂利の採取	国有財産である海砂が違法採取されていても、愛媛県は業者に対してとても甘いです。
(1) 海や海辺の環境	3.海砂利の採取	海砂採取で砂浜が小さくなり、海岸から急激に深くなってしまいました。
(1) 海や海辺の環境	4.藻場	この海域は日本最大の藻場の存在する事も知られているが、磯焼け等の被害が出ているにもかかわらず、原因究明せずに他地区からの藻を移植しているが成果はあがっていないようだ。
(1) 海や海辺の環境	4.藻場	若芽については漁師が収穫できる程度で育成し、それ以外のものについては腐敗した場合は廃棄物として償却することが望ましいと考えます。費用面が発生しますが、近隣に放たれる悪臭等の災害を考えれば、近隣で税金を納めている人の権利として対応すべきではないでしょうか。
(1) 海や海辺の環境	5.干潟	たとえば、東京・有明では、埋め立てられた当時はずいぶんともてはやされましたが、今でも空き地になっているところが少なくありません。また、沖縄県でゆれている泡瀬干潟埋め立ての問題では、未だに埋め立て地に参入する企業がないと聞きます。それでも、「公共事業は止まらない」のはどうしてなのでしょう。
(1) 海や海辺の環境	5.干潟	沖縄の泡瀬干潟！
(1) 海や海辺の環境	6.海辺の生物の生息環境	海の家土台として、毎年重機を使って前浜の砂をかき上げて居る行為が、由比ヶ浜の貝類の絶滅につながっている。
(1) 海や海辺の環境	6.海辺の生物の生息環境	平成8年を境に海亀も上陸しなくなり、湾内の魚への影響もだいぶあり、今では春先の彼岸フグの水揚げも皆無となり、タナゴやキス、クロダイも釣れなくなりました。
(1) 海や海辺の環境	6.海辺の生物の生息環境	矢作川河口衣浦湾一帯は、昭和30年代前半までは、白砂青松の海水浴場（新須磨、玉津浦等）、ハマグリ、アサリ、マテガイ等の潮干狩りは年中どこでもできたが、今はそのおかげは全くなくなっている。
(1) 海や海辺の環境	9.海洋汚染	海水が茶色く濁り、悪臭がし、泡が浮いていることがありました。波がよくても、これじゃあ喜べないですよ！！実際、目の痛み、など感じました。ひどいときは海に入るきも起きなかったです。
(1) 海や海辺の環境	11.海岸漂着物	離島の海岸では、産業廃棄物処分場以上の漂着ゴミ堆積地が存在する。
(1) 海や海辺の環境	13.1.その他	採集した貝をインターネットのHPで公開したら、違法採集だとクレームが付いた例があります。本人には全くそのような認識もなく、何が違法なのかを調べる術もなくとても落胆していました。
(1) 海や海辺の環境	13.2.その他(ゴミ)	おとし、湘南の浜辺に注射器が何本も捨ててありました。もし、ふんだらと思うとこわいです。特に夏場はゴミの量がすごいです。
(1) 海や海辺の環境	13.2.その他(ゴミ)	沖縄県内の至る所、特に釣り場や防波堤等人が集まるところは、例外なくゴミであふれています。
(1) 海や海辺の環境	13.2.その他(ゴミ)	湘南(鵠沼~辻堂)あたりでは、いまだにタバコの吸いながらゴミが砂浜にたくさん落ちています。
(2) 海や海辺の利用	14.海上交通の混雑	最近ではジェットスキーなどの新種の道具の普及により、海岸では危険を伴った接触が頻発しています。欧米では、動力を利用した道具と、動力を利用しない道具に原則的な利用優先順位が定着していますし、利用海域の区分けや規制も行なわれています。しかしながら日本では無政府状態です。
(2) 海や海辺の利用	14.海上交通の混雑	近年、くつろぐために来ている海で、水上バイクによる騒音、オイル臭、危険な走行が目にあまります。
(2) 海や海辺の利用	17.市民が近づける海辺の状況	地引き網の関係者が砂浜を駐車場化し、悪しき慣習となってしまった。海の家資材運搬トラックが海水浴客をひき死亡させた。
(2) 海や海辺の利用	17.市民が近づける海辺の状況	人間が手を加えた海岸が危険な状態になった場合、「立ち入り禁止」などの措置がとられることもありますが、そのこと自体が海岸へのアクセスを制限することになり、海岸利用を極端に制限しているという事につながり、根本的な解決からは程遠いという事実をご認識ください。
(2) 海や海辺の利用	17.市民が近づける海辺の状況	レジャー層においては、魚が釣れない、汚くて海に入れない等々。(親水エリアでなくなっている)
(2) 海や海辺の利用	17.市民が近づける海辺の状況	これ以上宮崎のサーフポイントが消えるのは悲しい事です。

2. 身近に起きている事例

分野	小分類	アンケートに寄せられた主な意見
(2) 海や海辺の利用	17.市民が近づける海辺の状況	海水浴場は規制が多く、本来自由かつ多様な利用があって然るべき海岸が実に不愉快な場所となっているのを感じます。また、どう考えても合法的とは思えない海の家が存在も問題でしょう。 海岸を利用し辛いから、地域の人達の足が遠のきます。結果として自分達の海という意識や興味ジェットスキーなどのボートが撒き散らす排気ガスが臭く、近くにいると頭がいたくなり、海面にオイルのようなものを撒き散らしているのを知っていますか？
(2) 海や海辺の利用	18.プレジャーボートの利用	神奈川県内の中小河川内にもプレジャーボートが河川内に係留されている。
(2) 海や海辺の利用	20.臨海部における土地利用	漁港や港が整備されて、新しい利用土地ができた場合でもそれが住民の利用や街づくりの視点でまったく活用されていないケースも沢山あります。
(2) 海や海辺の利用	20.臨海部における土地利用	遠浅の海岸を埋め軽工業、卸団地、骨材運搬業(砂、砂利)に用に供する目的で造成された土地に木材団地が出来て数10年になるが組合は崩壊し建家も朽ちはて、ホームレスの住み家等になり、火事を起るなど危険・不衛生であり、又、暴力団の不法占拠等不況の中目をそむける状況です。
(2) 海や海辺の利用	20.臨海部における土地利用	東京・有明では、埋め立てられた当時はずいぶんともてはやされましたが、今でも空き地になっているところが少なくありません。また、沖縄県でゆれている泡瀬干潟埋め立ての問題では、未だに埋め立て地に参入する企業がないと聞きます。それでも、「公共事業は止まらない」のはどうしてなのでしょう。
(2) 海や海辺の利用	21.埋立面積	大阪湾・播磨灘で、底層及びその泥中に酸素が無い(または極めて少ない)海域が広がってきている。これは1990年ごろから顕著になり、年ごとにひどくなってきた。 これは、沿岸の干潟・浅海の過度の埋立によって、生物たちによる物質の分解・循環=浄化の働きを殺してしまったことがその主原因である。
(2) 海や海辺の利用	23.風力発電	風力発電事業について、鳥類の重要な生息地を避けるような立地選定、あるいは鳥類に与える影響調査・評価が不十分であるため、設置直前段階において鳥類保護団体と事業者の間で摩擦が生じている。
(2) 海や海辺の利用	24.漁業	漁業者においては、漁業生産の減少によるダメージを受けている。
(2) 海や海辺の利用	25.その他	車上あらしがひどい
(2) 海や海辺の利用	25.その他	3、市役所では中央官庁の縦割りがそのまま反映されており、海の諸問題で窓口が全て違う。海岸は海浜課、漁港は農水課、海岸ゴミはごみ資源課、海の家の問題は観光課といった具合である。これでは総合的な海の問題には絶対に取り組むことができない。
(2) 海や海辺の利用	25.その他	ローカルサーファーが凶暴 千葉九十九里海岸、常時
(3) 海や海辺の防災・安全	27.海岸侵食	茅ヶ崎漁港が湘南海岸の真ん中に沖に向かって直線的に建設されており、ここでも沿岸海流の流れを妨げることにより、漁港の東西に砂浜の侵食が発生し、頻繁な養浜とヘッドランド建設やビーチマネジメントシステムなどが行われていますが、根本原因を除かない限りやがて鹿島灘海岸の二の舞でしょう。
(3) 海や海辺の防災・安全	27.海岸侵食	愛知県豊橋市の表浜海岸や静岡県相良海岸では、赤羽漁港や御前崎港の拡張工事による砂浜侵食が激しくおきています。砂浜が無くなったらコンクリートブロックで覆いつくせば良いという考えを変えてゆかなければいけないと思う。
(3) 海や海辺の防災・安全	31.海難の発生	九十九里各地の突堤+緩傾斜護岸、各地のテトラポットなど消波ブロックなどにサーファーが怪我をする。人工構造物が入ることによって、予想外の海の流れが発生しとても危険な状態になる。テトラポットに挟まって怪我・死亡するサーファーが多いのはご存知でしょうか？ 人にやさしいと考えられている緩傾斜護岸に海苔がついて、すべりやすくなり、非常に危険な状態になっているのをご存知でしょうか？
(3) 海や海辺の防災・安全	33.その他	福井県土木部河川課と福井県三方町で進めている三方五湖(水月湖)から若狭湾(世久見湾)への排水トンネル計画は水害対策と言う名目で若狭湾の生態に大きなダメージを与えようとしています。